



セカンドハーベスト名古屋

SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2018.6.30

NO.10

発行元 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒462-0831 愛知県名古屋市中区東町7丁目148番地

TEL:052-913-6280 FAX:052-913-6281

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:http://www.2h-nagoya.org/

編集/印刷 橋本写植

事務所移転しました!



4月より新事務所での活動を開始しました!

近年、個人に食品を届ける活動が急激に伸び、2015年開始当初は年間約2,000件から、2017年には4,500件と3年で倍以上に支援件数が増えました。連携する自治体数が増え、現在では東海3県の9割以上の自治体をカバーするまでになったためです。手狭になってしまった約40坪の前事務所(名古屋市中区柳原)から、今年4月に新たな場所へ移転しました。

新事務所は、前事務所から約2キロ離れた名城線・志賀本通駅徒歩3分の名古屋市中区城東町にあります。



広さは93坪で前事務所の倍以上ですが、築50年の古い倉庫のため移転にあたり大規模なリフォームを行いました。

今回の事務所移転に際し、多くの方にご支援をいただきました。団体として初めて挑戦したクラウドファンディングでは、50日間で104名の方から144万円の寄付をいただきました。他にも多くの方から直接寄付をいただき、移転費用に充てることができました。改めてご協力まことにありがとうございました。



CONTENTS

- 新事務所紹介……p.1~2
- パートナー団体紹介……p.3
- 新理事長インタビュー……p.4

新理事長インタビュー



2018年2月より、山田康弘より山内大輔に理事長が交代いたしました。山内新理事長に2HNについての今の想いを聞きました。

Q:2HNに参画されたきっかけを教えてください。

私は設立5年目の2012年から参画しました。それまではサラリーマンをしていましたが、元々知り合いだった山田前理事長に誘われたのがきっかけです。

当時「フードバンク」は知名度が今よりも低く、活動内容は全く知りませんでした。ただNPOには学生時代からボランティアとして関わっており「社会を変える仕事」への憧れはずっとありました。NPOで働くのは選択肢としてゼロではなかったのですが、漠然とリタイア後のずっと先のことと考えていました。しかし、2011

年に東日本大震災の経験から、いつかではなく今自分にできることをやってみるべきでは、と自然と考えるようになりました。

Q:実際に活動を始めてみて、どんなところにやりがいを感じますか？

フードバンク活動が企業・行政・市民の皆さんから、必要とされていると実感できることです。さらにボランティアの皆さんがやりがい・誇りをもって楽しく活動してくださることが、それ以上に大きなやりがいになっています。例えば、2HNへ見学に来た方に対してボランティアの方が少し誇らしげに活動紹介されているのを見ると嬉しい気持ちになります。

Q:フードバンク活動を通じてどんな社会を目指していきたいですか？

少し概念的な話になりますが、人は生まれながらにして生きる権利をもっています。また私自身「生きることは食べること」だと考えています。たとえどんな理由・状況であろうと、食べる事が保障される社会でありたい。そのために「フードバンクがあるから、食べるものは大丈夫」と思ってもらえることを目指して、活動を進めています。

Q:最後に一言メッセージをお願いします！

好きなアフリカのことわざで「早く行きたければ、ひとりで行け。遠くまで行きたければ、みんなで行け」があります。先に述べたような社会をつくるのは容易ではありません。少しずつかもしれませんが、皆さんとよりよい社会を作っていきたいと思っておりますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

フードバンク活動へ寄付のお願い

寄付いただいた食品を必要とする人へ届けるためには、倉庫代や配送費などの費用が必要です。私たちセカンドハーベスト名古屋の活動は、食品だけではなく活動資金も企業・個人からの寄付により成り立っています。皆様のあたたかいご支援よろしくお願ひ致します。いただきました寄付金は、生活に困っている個人や福祉団体へ食品を届けるために使わせていただきます。

銀行
振込

三菱 UFJ 銀行 栄町支店
普通口座 0015287
特定非営利活動法人
セカンドハーベスト名古屋

クレジットカードによる
継続的な寄付も可能です

セカンドハーベスト名古屋 寄付

